

報道関係者 各位

埼玉県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す  
遺伝子変異が検出された新型インフルエンザウイルスについて

埼玉県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが検出されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

**<報道発表資料>**

平成22年2月24日

**オセルタミビル（商品名：タミフル）に耐性を示す****新型インフルエンザウイルスの確認について**

新型インフルエンザの感染が確認された患者から、オセルタミビル（タミフル）耐性の新型インフルエンザウイルスを2例、PCR検体から確認しました。その概要についてお知らせいたします。

なお、厚生労働省によれば、タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの病原性には直接影響を及ぼすものではないとされています。

**【事例1】****1 検査結果**

- ・遺伝子解析（埼玉県衛生研究所実施 2月3日（水）判明）  
オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性マーカH275Y検出
- ・薬剤感受性試験（国立感染症研究所実施 2月23日（火）判明）  
オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性株と感受性株の混在を確認。  
ザナミビル（商品名：リレンザ）感受性を確認。

（参考）

耐性株と感受性株の混在：国立感染症研究所による薬剤感受性試験では、オセルタミビルの感受性がやや低下している検査結果となること。

耐性：薬剤に対して抵抗性を持ち、これらの薬剤が効きにくくなること。

感受性：薬剤が有効に作用すること。

**2 患者の概要**

熊谷保健所管内在住の5歳、男児  
基礎疾患 なし

**3 経緯**

- 12月4日（金） 発熱37.5度、咳、咽頭痛、嘔吐の症状あり。  
近医を受診。簡易検査A（-）。
- 12月5日（土） 熱39.4度、近医を再度受診。簡易検査A（+）。タミフル服用。呼吸困難のため入院。人工呼吸器装着。
- 12月7日（日） PCR検査のための検体採取
- 12月8日（火） PCR検査の結果、新型インフルエンザ陽性。
- 12月10日（木） 症状が改善されないため、別の医療機関に転院。  
人工呼吸器装着。
- 12月12日（土） 解熱。
- 12月17日（木） 症状が快復し、退院。

現在、この患者から周囲への感染拡大は認められていません。

**【事例2】****1 検査結果**

- ・遺伝子解析（埼玉県衛生研究所実施 2月3日（水）判明）  
オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性マーカH275Y検出

- ・薬剤感受性試験（国立感染症研究所実施 2月23日（火）判明）  
オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性を確認。  
ザナミビル（商品名：リレンザ）感受性を確認。

## 2 患者の概要

鴻巣保健所管内在住の28歳、女性  
基礎疾患 なし

## 3 経緯

- 11月21日（土） 家族がインフルエンザ発症。本人タミフル予防内服開始。
- 11月29日（日） 発熱37.8度、関節痛、嘔吐の症状あり。
- 11月30日（月） 熱37.4度、近医を受診。簡易検査A（+）。PCR検査のための検体採取。
- 12月 2日（水） 解熱し症状が快復。PCR検査の結果、新型インフルエンザ陽性。

この患者は、予防内服していたが、新型インフルエンザを発症したため、薬剤耐性変異の遺伝子解析を行ったものです。

現在、この患者から周囲への感染拡大は認められていません。

## ○ その他の検査状況

現時点までに、埼玉県衛生研究所において50株の薬剤耐性変異の遺伝子解析を行った結果、タミフル耐性をもつ遺伝子変異が確認されたのは、3例となっています。ほかに、さいたま市健康科学研究センターで1例確認しています。

なお、全国では昨日までに52例が確認されています。